

「こどもの日」にちなんで(平成20年4月1日現在:推計人口)

1. 滋賀県の年少人口は、前年同月比で598人(0.28%)の増加

14歳以下の年少人口は213,495人で、前年同月に比べ598人(0.28%)の増加となり、総人口に占める割合では、前年同月と横ばいの15.3%になっています。

*平成19年10月1日現在の総務省推計人口では、年少人口の割合は全国2位(1位:沖縄)

	平成20年4月1日現在						対前年増減率(%)		
	総数	男	女	人口比率(%)			総数	男	女
				総数	男	女			
総数	1,396,262 (27,924)	690,430 (14,411)	705,832 (13,513)	100.0 (2.0)	100.0 (2.0)	100.0 (1.9)	0.54 (-)	0.58 (-)	0.50 (-)
0~14歳	213,495 (3,533)	109,832 (1,828)	103,663 (1,705)	15.3 (0.3)	15.9 (0.3)	14.7 (0.2)	0.28 (-)	0.34 (-)	0.21 (-)
0-4	68,731 (1,423)	35,441 (733)	33,290 (690)	4.9 (0.1)	5.1 (0.1)	4.7 (0.1)	-0.18 (-)	-0.12 (-)	-0.24 (-)
	73,018 (1,140)	37,650 (584)	35,368 (556)	5.2 (0.1)	5.5 (0.1)	5.0 (0.1)	0.40 (-)	0.53 (-)	0.26 (-)
	71,746 (970)	36,741 (511)	35,005 (459)	5.1 (0.1)	5.3 (0.1)	5.0 (0.1)	0.60 (-)	0.60 (-)	0.60 (-)

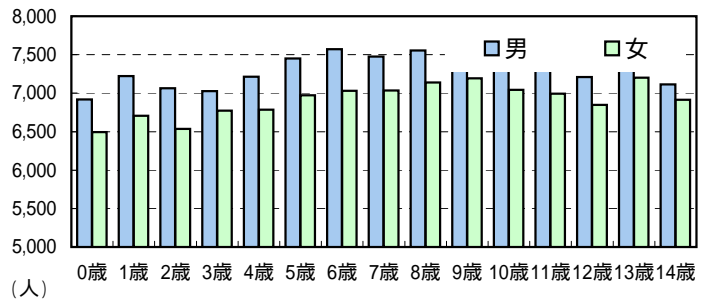
平成20年4月1日および平成19年4月1日現在の推計人口は、平成17年国勢調査を基準としたものです。

総数には年齢不詳人口(1,224人)を含んでいます。

各欄下段の()は、内外国人の数です。

2. 年少人口は、各歳ともに、女性より男性が多い

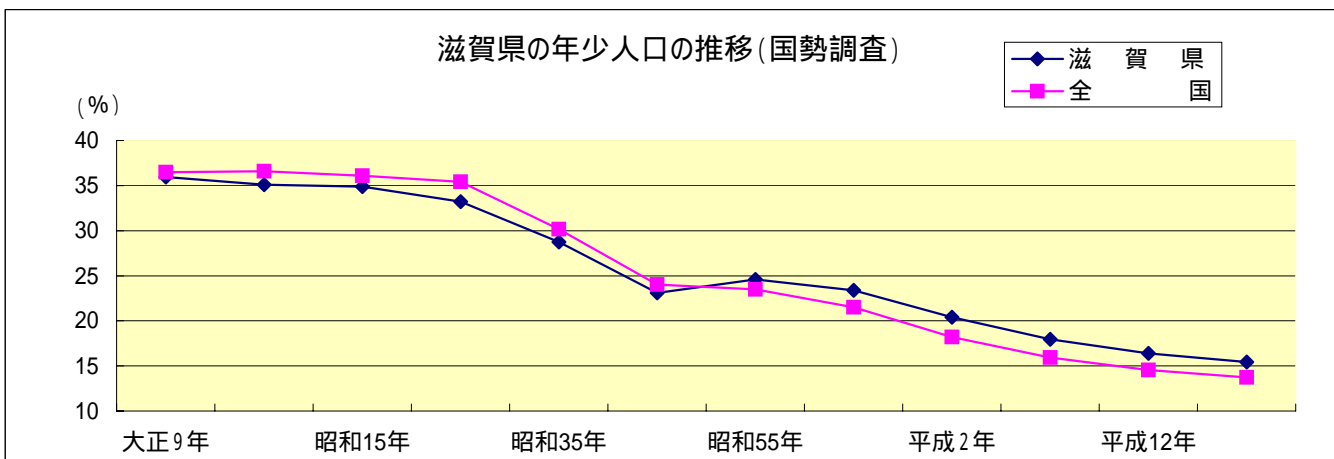
滋賀県の年少人口を男女別、各歳別に見ると、各歳ともに女性より男性の方が多くなっています。



3. 年少人口比率の推移は減少傾向にあるが、全国比率を上回っている(国勢調査)

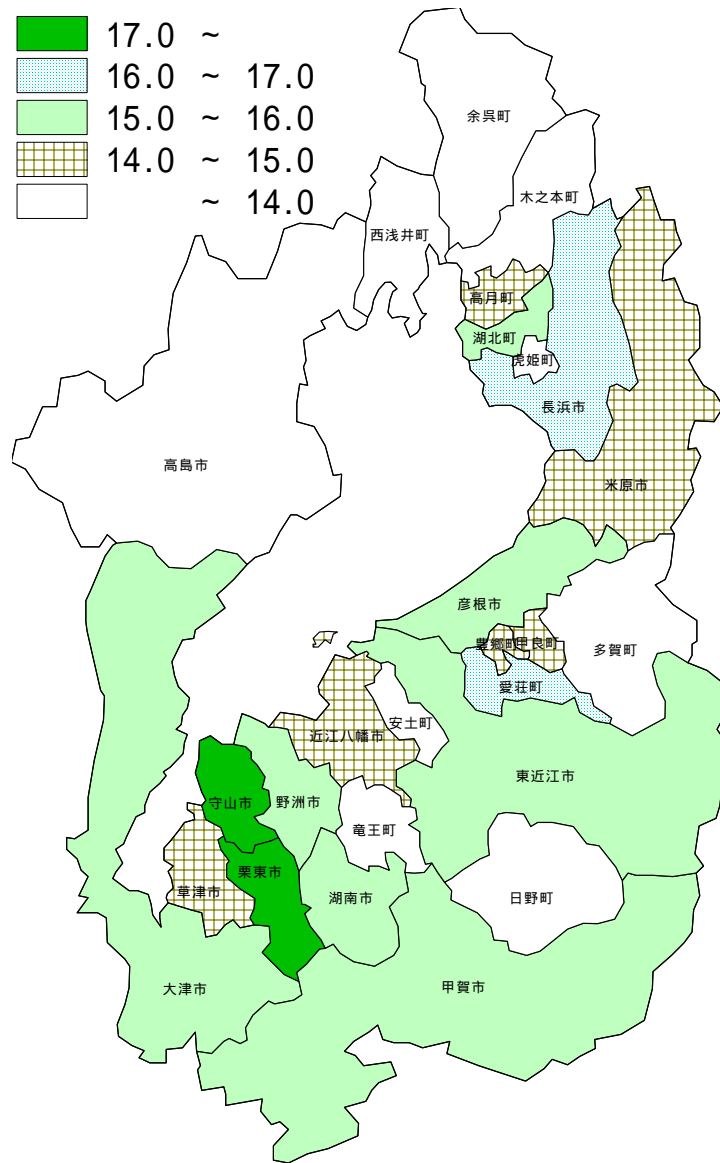
国勢調査結果をみると、総人口に占める年少人口比率は年々減少しています。全国比率と比較すると、昭和45年までは全国比率を下回っていますが、昭和55年以降、全国比率よりも上回っています。

これらは全国平均とほぼ同じ状況で推移していた滋賀県の合計特殊出生率が、昭和45年ごろから全国平均を上回って推移したことや、名神高速道路を軸とした道路網の整備と並行して大規模工業団地の造成が進んだことによる流入人口の増加なども一つの要因と推測されます。



4. 市町別年少人口の比率(平成20年4月1日現在:推計人口)

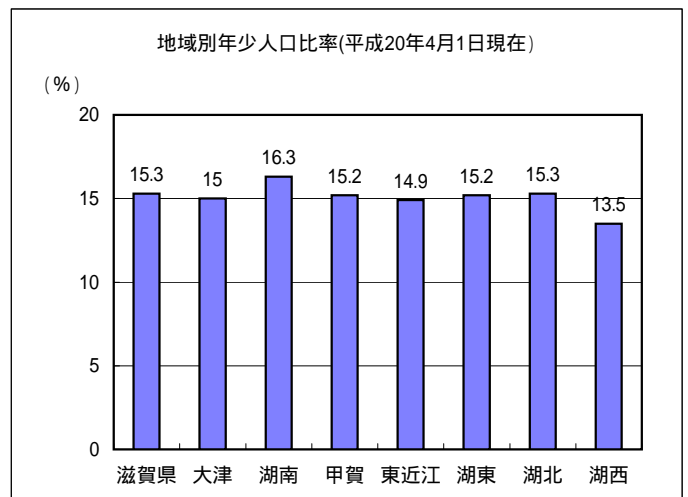
滋賀県の総人口に占める年少人口の比率を市町別に見ると、栗東市(19.6%)が最も高く、次いで、守山市(17.4%)、愛荘町(16.9%)、長浜市(16.2%)となっています。また、年少人口の比率の低いのは、木之本町(12.5%)、余呉町(12.5%)、虎姫町(13.2%)、竜王町(13.3%)、西浅井町(13.3%)となっています。



5. 地域別年少人口の比率(各年4月1日現在:推計人口)

地域別に見ると、最も高いのは湖南地域の16.3%次いで湖北地域の15.3%となっています。

また、最も低いのは湖西地域の13.5%、次いで東近江地域14.9%となっています。



地域区分	市 郡 名
大 津	大津市
湖 南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲 賀	甲賀市、湖南省
東近江	近江八幡市、東近江市、蒲生郡
湖 東	彦根市、愛知郡、犬上郡
湖 北	長浜市、米原市、東浅井郡、伊香郡
湖 西	高島市